

250人が 一つの曲で、 一つの波に

町女性レクリエーション大会

9月16日(日) 名和農業者トレーニンングセンターで、町女性団体連絡協議会(荒金恵美子会長)主催の第2回「女性レクリエーション大会」が開かれました。町内の女性が一堂に集まり、レクリエーションを通して交流と親睦を深めようと約250人が参加しました。



金庫番ゲーム。フリー参加のチーム編成で楽しみました

この日は、配られたオリジナルの「だいせん」ロゴ入りピンクのタオルを参加者がそろうて身につけ、会場に華やかな色を添えました。今年注目の「素敵でシヨ」では、仮装あり、踊りありと6団体がいろいろなテーマの出し物に工夫を凝らし、会場をいっそう盛り上げました。最後は全員が輪になって、「われら人生」を踊りました。

閉会式では、副会長の森本怜子さんが「私たちは、今の踊りのように、一つの曲で一つの波になりました。みんなが元気で、子どもたちのために、私たちのために、大山町のために、がんばっていい明日をつくり、いい未来を残したいと思います。それぞれの地域で、自分たちの力を出し合いながら、大山町の力になりたいと思います」と結びました。

中山・退休寺開創650年 記念法要盛大に



すべての生き物の命の尊さを説く
齊藤副貫首さん

退休寺(住職 中井雅由さん)が開創650年を迎え、9月20日、記念法要が執り行われました。

退休寺は1357年に創建された曹洞宗の古刹(こさつ)で、2度の大火を乗り越えて現在に至ります。菊の御紋で飾られた勅使門と、後小松天皇から賜った「金龍山」の額は共に大切に守られており、当時の姿をしのばせています。

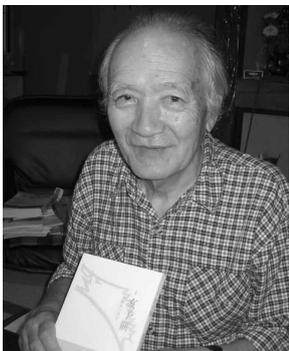
法要には本山・総持寺(横浜市)の副貫首 齊藤信義さんや末寺の住職さんら30人をはじめ、地元の方約100人が参加しました。かねがね鳴り響くなかお経が次々と読み上げられ厳かに法要が進みました。最後にあいさつをされた佐々木博士さんは、「これからもお寺を大切に守っていききたい」と話しておられました。

農事の句 書き綴る

書き綴る

大山裾野の田畑を題材に一貫して農事の俳句を作り続けている俳人の美柑みつはるさん(坊領73歳)が、自作の句集「亥子餅」を発行されました。昭和53年に初刊「農暦」を発行されて以降、今回が4作目。347句が収められています。高校時代から俳句を始め、現在泉同人、俳人協会会員で、県内外の各種俳壇で活躍されるほか、町内外で俳句グループの指導にもあたっておられます。自ら田畑を耕作しながら体験を通して作り出される句は分かりやすく、奥が深いと定評があります。「百姓のある姿を克明に作品に残していきたい」と今後の意欲を語っておられます。

坊領の村は百軒稲の花
(句集から)



句集を手にする美柑さん

建設資材を使った 遊び場が完成!

御来屋保育所

御来屋地内では、国土交通省によって国道9号の歩道整備事業が進められていますが、このほど、沿線住民の方への地域貢献の一環として、同事業の施工業者の方々が、御来屋保育所園庭脇に建設資材を使った遊び場を作ってくださいました。川やダムを作って遊べる土山やU字溝トンネル付きの土山、泥だんご場など4種類の遊び場が次々と完成しました。

提供できる資材を使つての手作りの遊び場だけあつて業者の方は子どもたちが楽しく遊べるようイメージを膨らませながら作っておられました。新しい遊び場が目見えし、園児たちは大喜びでした。



楽しい遊び場をありがとう